

障害のある子どもたちへのサービス

研究室に所蔵している雑誌の中に、ALSC (Association for Library Service to Children) が発行している、「Children & Libraries」があります。欧米で発行されている雑誌ですので、最新号が研究室に所蔵されるまでにタイムラグはあるのですが、図書館における最新の児童サービスについての情報を得ることができます。

2004年春号に特集として「All Kinds of Flowers Grow Here」が掲載されています。これは、アメリカ・ブルックリン公共図書館のキャリアバンクという司書の方によるレポートです。内容は、障害のある子を視野に入れた児童サービス、実際のサービスプログラム、このサービスに関わるボランティアについて...その他、サービス評価、今後の方向性までが語られており、障害のある子に対するサービスがその図書館で大事にされ、きちんと行われていることがわかります。といっても、もちろん、彼らを特別視したり、対応したりするサービスではありません。

レポートの中に、児童サービスのプログラムを考える上で大切なこととして「障害のある子のニーズに、プログラムを合わせることより、むしろ、すべての子どもたちに応じた柔軟性を持たせたプログラムを計画・デザインすること」とあるように、子どもたちが障害のあるなしに関わらず、一緒におはなし会・工作会・料理会などを楽しめるように、計画・実行されているようです。

実際に欧米の図書館の児童コーナーには当たり前のように「スペシャルニーズ」のコーナーがあり、そこには障害のある子どもたちが必要とする、「録音図書」「大活字本・絵本」「点字本」が書架に配架され、もちろん、子ども用の車椅子専用の机も用意されています。障害のある子もない子も同じフロアで読書を楽しむことができるようになっています。(建物の構造上、広いスペースを取れないところもあるようですが...)

ブルックリン公共図書館では、図書館内での児童サービスの他に、障害のある子どもたちの通う学校や学校図書館や病院とも連携し、サービスが行われています。レポートの題にある『花』はまさに、子どもたちのことなのだとわかりました。

さて、「静岡県子ども読書推進計画」にも障害のある子どもたちへの支援が記されていますが、具現化するためには、どうしていったらいいのでしょうか。思いつきですぐにできるものではありません。図書館においては予算の問題もありましょうし、障害についてもきちんと勉強しなければならないでしょう。キャリアバンク司書も自ら手話の勉強もされたようです。

ボランティアの方々の中には、おはなし会を手話つ

きで行っているグループもあるようですし、養護学校で絵本の読み聞かせをされている方もいらっしゃると思います。きっと長い時間をかけて実践されていることなのでしょう。

子どもたちに手渡す本を吟味することが大事なことであるように、子どもたちを「知ること」「正しく理解すること」も大切なことです。これは、何も障害のある子に対してのみのことではありません。児童・青少年サービス全体においても大事にされるべきことです。

そうして、子どもたちのために、何ができるか、何をしなくてはならないか...。今後も考えていきたいと思えます。

「長くつしたのピッピ」の作者、リンドグレンの作品は、子どもたちをやさしく見つめた作品が多いのですが、その中に「夕あかりの国」というお話があります。歩くことのできなくなったヨーラン少年が「夕あかりの国」からやってきた、不思議なリリョンクバーストさんの案内のもと、「夕あかりの国」を旅します。足が悪いことを気に掛けるヨーランに、リリョンクバーストさんは「そんなこと、へいきだよ。夕あかりの国では、なんでもないんだ。」と言って様々なことを体験させてくれます。もしかすると、「夕あかりの国」は、どんな子にとっても不思議がいっぱいで自分が主人公になってしまう、「本の世界」かもしれません。

イベント・講座・講演会情報

世界のバリアフリー絵本展

期間：11月24日～12月5日

場所：福田町立図書館

問い合わせ：福田町立図書館

電話：0538-58-3300

講演会「大きなあれ読書の輪」

- 京都市子ども読書活動振興市民会議に学ぶ -

講師：樋口秀子氏

(京都市教育委員会 生涯学習部
家庭地域教育支援課 専門主事)

日時：11月27日(土)13:20～

場所：掛川市立中央図書館 会議室B

問合せ：掛川市子どもの読書活動を考える会

0537-24-2462

来室 団体

静岡市清水地区の小学校の先生方が15名、学校図書館部会の研修ということで研究室にみえました。団体での研究室のご利用もお待ちしています。(事前にお知らせくだされば、資料の用意等もいたします。) 研究室：054-262-1243